

12²⁰¹¹
月号
No.609

広報

小さくても輝く町

やまつり

新記録をめざして
スタートダッシュ!



関岡小持久走記録会にて

- 矢祭町町民号・火災防御訓練・教育村構想・交通安全東白川地方大会・他・・・P 2～P 7
- 矢祭町文化祭・芸能発表会・さくら功労団体表彰・菊池利次油絵展・並木丘祭・P 8～P 11
- ふくしま駅伝・青少年の主張最優秀賞作品・わが家のイチおし・他・・・P 12～P 15
- はつらつ健康・すくすく満1歳・俳句・・・P 16～P 17
- タウントップピクス・町の動き・情報局・情報カレンダー・・・P 18～P 26



住んでみたい
住み続けたい
やまつり町

融和と親睦を深めたい矢祭町町民

町政発展と町民の安寧を祈願



出発のテープカット

10月30日、町民の融和と親睦を図ろうと矢祭町町民号が行われ、217名が参加し、宮城県岩沼市の日本三稲荷「竹駒神社」と秋保温泉への小旅行を楽しみました。

午前6時30分、ユーバル矢祭に全参加者が揃った中、町長、富永盛彦議長、片野隆区長会長がテープカットを行い、大型バス6台で、一路、竹駒神社に向けて出発しました。

神社に着くと、参加者全員で神社拝殿に上がり正座。神楽大祈禱を受け、代表の町長、議長、区長会長が玉ぐし奉奠を行い、

町政発展と町民の安寧を祈願しました。

その後、東日本大震災で津波を受けた仙台空港を経由し、秋保温泉「岩沼屋」へと向かいました。

ホテルに到着すると、早々に町政懇談会が行われ、事前に質問・要望があった佐藤慶一高野谷地区長と柏定雄大坂区長から改めて質問を受け、町長が答弁を行いました。また高山区の金澤信一副区長から急遽要望が寄せられましたが、検討を要するため後日回答することです承を得ました。

懇談会を終え、会場を宴会場に移し、総勢217名による大懇親会が開かれ、和やかな雰囲気の中で参加者同士の親睦が図られました。また、温泉につかる人や、買い物を楽しむ人もおり、有意義な1日を過ごしていました。



挨拶する町長



質問に答える町長



懇親会での乾盃



全参加者が拝殿に



代表の玉ぐし奉奠



神社本殿

火災防御訓練を実施 有事に備えた総合的な実践訓練

矢祭町・矢祭町消防団・棚倉消防署矢祭分署・関岡区(高澤正勝区長)をはじめとする関係機関合同による火災防御訓練が、11月6日に関岡小学校とその周辺を会場に総勢120名余りが参加し実施されました。

訓練に先立ち、まず統監(町長)より訓示が行われ、薄葉新一棚倉消防署矢祭分署長が訓練想定を発表。鈴木桂語団長が訓練開始宣言を行うと、直ちに訓練が始まりました。

空気が非常に乾燥し火災が起こりやすい状況下で、橋場地内の荒地から出火。北西の強風にあおられ、関岡小学校西側の山林に飛び火したとの想定のもと、第3分団(増子幸夫分団長)が主体となり、火災通報を受けた矢祭分署や各班の消防車両が一斉に出動し、水利の確保から消火活動に至る一連の動きを訓練しました。

消火活動では、東館・矢祭両駐在所も加わり、関係団体・機関が連携しながら、水利の確保やポンプ・ホース中継などの訓練を行いました。

また、住民を対象とした消火器の取扱い方や消火の仕方、消火栓の取扱いなどを訓練、さらに日赤奉仕団や住民らによる炊き出し訓練も行われ、有事に備えた総合的な実践訓練となりました。



遠巻きに見守る住民



消火栓からの放水訓練



炊き出し訓練



消火器による消火訓練



放水訓練



訓練を見守る統監



団長へポンプ目録を渡した町長

最新鋭の小型動力ポンプを配備

火災防御訓練終了後、関岡小学校校庭で第3分団第9班 関岡に、最新鋭の小型動力ポンプB2級(水冷ラジエーター式・分離給油・自動給水機能付)の引渡し式が行われました。

式では、ポンプ目録が町長から鈴木桂語団長へ、さらに団長から増子幸夫第3分団長へ、そして本田孝志第9班班長へと引渡しされました。引渡し後、町長、団長が挨拶。これを受け、本田班長が「なお一層使命感を強め、団員一致協力して予防消防に努めます」と謝辞を述べ、引渡し式が終了しました。



ジェットシューター隊出動



中継訓練

教育委員住民代表から意見を聞く

10月20日、10月教育委員会定例会を開催した後、「教育村説明会」で提案された住民代表4人からの意見聴取が行われました。

初めに、鈴木幹男委員長が会議の趣旨を説明した上で、「代表者の皆さんからの意見を聞き、今後臨時教育委員会で協議を進め、その結果を取りまとめ、町長に進言したい」と挨拶し、会議に入りました。

まず、二階堂教育長より東館小学校で行われた教育村説明会での経過と19名から出された意見や質問、それに対する町長からの答弁内容が詳細に報告されました。それを受け、出席した4人の代表者それぞれから意見が述べられ、教育委員も真剣に聞き入っていました。

今後は意見聴取の結果を踏まえ、臨時教育委員会で十分な話し合いを行い、教育委員会として意見をとりまとめることになりました。



意見を述べた住民代表



真剣に意見を聞く教育委員

矢祭町教育委員会「教育村構想」について進言書を提出

11月15日、鈴木幹男教育委員長と金澤孝明同職務代理者が役場を訪れ、教育村構想について話し合いを重ねた結果をまとめ、町長に進言書を提出しました。

進言書を受け取った町長は「教育委員会の総意を十分に尊重し、今後慎重に進めていきたい」と真摯に応え、子どもセンター早期着工と新校舎建設に向け、統合委員会(仮称)を立ち上げたいとの思いを語りました。



進言書を渡す鈴木教育委員長

進言書

教育村構想については、所管である教育委員会に提案がなされなかったことは誠に残念なことで、今後このようなことがないように願いたい。

町民の多くは、子どもセンターの早急な建設と小学校の統合を望んでいる。

子どもセンターの早期着工と、小学校統合に向けた新校舎建設に向け、速やかに統合委員会(仮称)を立ち上げ、ハード面(建設、施設等)・ソフト面(教育内容、方法等)同時に検討に入るべきと進言する。

矢祭町長 古張 允 様

平成二十三年十一月十五日

矢祭町教育委員会教育委員長 鈴木 幹 男

交通事故根絶を誓う

第14回交通安全東白川地方大会

11月9日、第14回交通安全東白川地方大会が埴町公民館で開催され、郡内から多くの交通関係者が出席しました。開会前には、アトラクションとしてカンパニーショコラクラブの演技や埴祭ばやし保存会の演奏が披露され、なごやかな雰囲気の中での開会となりました。

開会のことばに続き、交通事故犠牲者と東日本大震災犠牲者に対し黙祷をささげ、大会長の菊池基文埴町交通対策協議会長、渡部紅輝棚倉警察署長が挨拶。鈴木道男埴町議会議長から開催地歓迎の挨拶がありました。

次に表彰に移り、上部団体表彰伝達・披露と各種の表彰が行われ、樵隆男東白川地方交通安全協議会会長をはじめ、多くの来賓から祝辞が述べられました。そして金澤昭棚倉地区交通安全協



黙祷を捧げる参加者

会長が大会宣言を朗読し、満場の拍手で採択、古張允矢祭町交通対策協議会長の閉会のことばで大会を終了しました。

大会長挨拶

矢祭町関係の表彰(敬称略)
 全日本交通安全協会会長表彰 交通安全功労者 佐川 守
 福島県警察本部長・福島県交通安全協会会長連名表彰
 交通安全優良学校 下関河内小学校
 棚倉警察署長・交通安全東白川地方大会会長連名表彰
 交通安全功労者 緑川恵克
 棚倉警察署長・棚倉地区安全運転管理者協会会長連名表彰
 優良安全運転管理者 藤田敏雄 優良事業所 藤井商店

教育懇談会・表彰式を開催

11月8日、矢祭町PTA連合協議会(菊池賢一会長)の教育懇談会がユール矢祭で開催され、各小中学校PTA役員・校長20名が出席し、「矢祭町のめざす子どものすがた」をテーマにグループ討議が行われました。

討議は4グループに分かれ、各小中学校PTAが保護者、児童生徒、教職員を対象に行った「矢祭町のめざす子どものすがた」のアンケート結果を参考にしながら意見が交わりました。



熱心にグループ討議

矢祭町PTA連合協議会

終了後、表彰式が行われ、県PTA連合会表彰並びに郡PTA連合協議会表彰の伝達と紹介をした後、永年にわたり各小中学校PTA役員として活動した7人を表彰しました。(敬称略)
福島県PTA連合会表彰(伝達)
 藤井隆治(前東白川郡PTA連合協議会副会長・前矢祭町PTA連合協議会長)
東白川郡PTA連合協議会表彰(紹介)
 大森秀一(前東館小学校PTA会長)、木下春文(前下関河内小学校PTA会長)、高沢良一(前関岡小学校PTA会長)、増子利行(前内川小学校PTA会長)、菊池敏昭(前石井小学校PTA会長)

矢祭町PTA連合協議会表彰

大木真由美(前東館小学校PTA副会長)、佐藤初美(前下関河内小学校PTA会計)、西牧泰彦(前関岡小学校PTA庶務)、茂木琢矢(前内川小学校PTA副会長)、小松淳子(前石井小学校PTA副会長)、本田淳一(前矢祭中学校PTA副会長)、鈴木和宏(全矢祭中学校PTA副会長)



男女混声合唱団



優雅に舞う



力強く詩吟を披露



クラシックふれあいコンサート

第29回芸能発表会

の目と耳、そして心を引き付けました。出演者も日頃の練習成果を發揮しようと、真剣な面持ちで演技を披露していました。
今年文化祭40周年を記念し、郡山市民オーケストラ(春山秀城団長・外52名)を招いて「クラシックふれあいコンサート」も開催されました。会場に訪れた町民は、目前で奏でられる生のオーケストラ演奏に魅了され、文化の香り高き1日を楽しんでいました。



オーケストラを前に挨拶する町長

磨き抜かれた演技・演奏に感動

矢祭町文化団体連絡協議会(鈴木良夫会長)主催による第29回芸能発表会が、11月3日ユールパル矢祭で開催されました。発表会に先立ち、開会式が行われ、鈴木会長が挨拶、来賓を代表し町長が祝辞を述べ、出演団体代表者12名が紹介されました。続いて、プログラムNo.1矢祭民謡愛好会による「真室川音頭」を皮切りに、歌や舞い、演奏など29の演目が披露され、会場に詰め掛けた大勢の町民

第40回矢祭町文化祭

香り高き芸術文化に触れる

11月1日から3日までの3日間、ユールパル矢祭とスインピア矢祭を会場に、第40回矢祭町文化祭が賑やかに開催されました。参加協賛団体等からは、書道、生け花、陶芸、俳句、短歌、菊花、写真、絵画、一般美術、そして児童・生徒、高齢者からも様々な作品が数多く出展されました。いずれも優れた作品が多く、町民の技量の高さに改めて感心しました。また、菊花展も素晴らしい花々が並び、長い時間と手間をかけ咲かせた愛好者の思いが見事に花開いていました。
3日はスインピア矢祭駐車場で、矢祭町日赤奉仕団をはじめ5団体協賛によるバザーや模擬店が開催されました。会場には多くの町民が訪れ、掘出し物を見つけては格安で買い求めたり、模擬店に立ち寄りおでんや焼きそばを食べたりする姿も見られ、年に一度の文化祭行事を楽しんでいました。



作品展示コーナー



ロビー展示会場



菊花に見とれる見学者



賑わうバザー会場



健康チェックコーナー

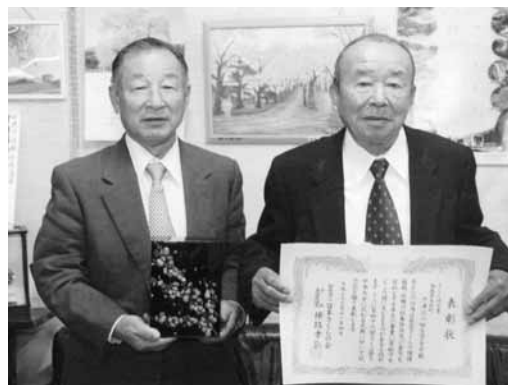


イベント広場も賑やか

日本さくららの会から 功労者団体表彰を受賞

戸津辺の桜を守る会(青砥吉次会長)は、さくら愛護活動に顕著な功績があったとし、財団法人日本さくららの会(会長・横路孝弘衆議院議長)から、さくら功労者の団体表彰を受賞しました。

表彰式は、11月4日東京永田町の衆議院議長公邸で行われ、青砥会長と片野恵仁事業課長が出席し、横路会長から直接表彰状と記念品が伝達されました。式典後、公邸内で昼食会が催され、全国から式典に出席した個人や団体関係者らとの情報交



受賞報告した青砥会長

換が行われました。帰町後、役場町長室において、町長に受賞の報告と御礼を述べるとともに、「今回の表彰に恥じないよう、さらに保存活動に努力し、町の重要な観光資源として、地域の宝として保存したい」と決意を新たにしています。なお、今年度は全国から個人12名、団体50団体が表彰され、県内からは1個人と4団体が表彰されました。



横路孝弘会長から表彰される青砥会長

「第11回菊池利次油絵展」を開催 売上金を全額町に寄付

11月18日から20日までの3日間、ユーパル矢祭で矢祭町応援チャリティ「第11回菊池利次油絵展」が開催されました。会場となったイベントホールには、力作油絵40点が展示され、市価の半額で販売されました。菊池さんは11月21日役場を訪れ、売上金80万5千円と募金箱に集まった22,363円を町長に寄託しました。

贈呈式は、同級生の緑川進さん、ユーパル矢祭永山雅英支配人、グループ長以上の職員が出席した中、菊池さんが「皆さんのご協力で展示会を行うことが出来ました。少ない金額ではありますが、町発展のために寄付させていただきます」と挨拶。町長が「ふるさと創生資金として人材育成などに活用させていただきます」と御礼のことばを述べました。菊池さんからは、他に50号の大作「こぶしの花」「夕焼け雲」、40号の「足尾銅山」の3枚の額つき油絵と、根本前町長と古張町長の肖像画も寄付されました。



寄付金を贈呈する菊池さん



じっくり鑑賞する来場者

183名のやる気が総結集

すばらしい「並木丘祭」

「輝け！一人ひとりが太陽のように。刻め！感動を心に」をスローガンに、10月23日に矢祭中学校文化祭が開催されました。力強い和太鼓の演奏を皮切りに開会式で「生徒会からのメッセージ」と題した学校生活でのシーンが映像で流されると、生徒も先生も保護者からも笑みがこぼれ、和やかな雰囲気となりました。そして全校生で完成させたビッグアートがステージ上に披露され、学習発表が始まりました。

英語弁論、JRC活動発表、青空クラブ発表、総合学習発表(1年自然調査学習・2年職場体験学習・3年海外修学旅行)など、次々と素晴らしい学習成果が披露されました。

その後、学級対抗のミニ運動会で汗を流し、昼食となり、PTA役員が用意したとん汁で英気を養いました。

午後は、学級対抗の合唱コンクールが行われ、クラスが一つに結集した歌声が体育館内に響いていました。閉会式では、実行委員からのメッセージが流され、大塚優也実行委員長挨拶が始まると、生徒たちから温かい声援が飛び出し、委員長も感無量の様子でした。フィナーレでは、委員長やお世話になった先生方が胴上げされ、感動のうちに閉幕しました。



並木丘は笑顔で一杯に



ミニ運動会



合唱コンクール

実行委員を務めての感想

大塚優也さん
生徒会に入って初めての並木丘祭で、不安と楽しみな気持ちが混ざっていました。ですが、全員が一つのことに向かい努力している姿を見て、徐々に安心に変わりました。自分自身には満点は上げられませんが、とても良い並木丘祭になったと思います。

富永清楓さん
今年の並木丘祭は中学校生活で最後でした。生徒会本部として作ってきた並木丘祭を成功させられて良かったし、とても感動しました。一生の思い出になりました。

青砥瑞季さん
2週間前から急ぎ足で準備してきた文化祭が成功して、とても嬉しかったです。始まるまではずっと不安だったけど、全校生徒が楽しめたと思うので、言葉にならない感動が生まれました。仕事ができて本当に良かったです。

金澤穂香さん
全校生の中心での仕事はとても緊張しましたが、感動的で充実した並木丘祭になりました。中学校生活で一番の思い出になったと共に、友達の大切さを改めて実感することが出来ました。

第23回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会

「ふくしま駅伝」

矢祭町チーム今年も大健闘

11月20日、白河総合運動公園陸上競技場をスタートし、ゴールの福島県庁前までの16区間96.5kmを競う第23回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会「ふくしま駅伝」が開催され、矢祭町チームは22年連続参加を果たしました。

今大会には49市町村チームがエントリーし、スタートラインに全選手が揃った中、午前7時40分ピストルの号砲で一斉スタート。第1走者石井寿美選手も、大集団に混じり競技場内を1周し、一般道へと飛び出して行きました。第2走者以降タスキが引継がれたものの、第6中継所で1位通過チームとの時間差により、残念ながら一斉スタートとなってしまいました。しかし、棄権することなく全選手が走り抜き、最終走者の金子一則選手が県庁前ゴールに無事ゴールインしました。

町村の部12位、総合で29位となり、昨年よりも順位を上げ、郡内ではトップの成績を収めました。走った16選手のうち10名が中高生で、若年層主体のチームながら今回も大健闘を果たしました。



県庁ゴールにて

矢祭町チーム報告会

大会を終え、矢祭町選手団が帰町した後、ユーバル矢祭で報告会が開催されました。

初めに、坪功三監督から大会結果と総括が行われ、町長が「条件が悪い中、期待どおり昨年以上の立派な成績を収め、郡内ではナンバーワン。和の力で上位入賞を果たした。選手のコンディションを支えてくれた家族・スタッフのお陰」と賞賛の言葉を贈りました。

永山勝範団長も「短い期間での練習だったが、厳しい練習に耐えたその精神力は素晴らしい。今後の学校生活や社会生活に役立つはず。物心両面から支援してくれた関係者の皆さんに感謝したい」と挨拶を述べ、富永議長からは、選手・役員に対し、ねぎらいの言葉が贈られました。そして団長から町長にチーム団旗を返還し、町長は選手一人ひとりに記念品を授与しながらねぎらいの言葉を掛けました。

報告会を終えた後、金澤孝明教育委員長の発声で慰労会が行われ、今年のふくしま駅伝は無事幕を閉じました。



永山団長から団旗返還



町長より記念品贈呈



白河陸上競技場一斉スタート



ゼッケン20石井寿美選手



8区開成山陸上競技場前一斉スタート



16区アンカー金子一則選手



ゴールに入る金子選手

「出会いが人を強くする」

矢祭中学校二年 藤井 瀬里香



「人は一人では生きていけない。という言葉をよく耳にします。私はこのことばにとっても共感します。人は、様々な人と出会うことで、生きる力がわいてくるのです。しかし、私たちは、その出会いを大切にできているでしょうか。」

私は、一年生の四月、陸上競技部に入部しました。そこで、大きな大会で活躍している全国レベルの先輩やつらい時に励ましあえる仲間、厳しくも優しい顧問の先生と出会いました。先輩は、練習のとき、誰よりも一生懸命で、夢中になって走っていました。苦しいときも走り続ける先輩の姿を見て、努力とはこういうことなのだと思いました。そのがむしゃらな姿はとても格好良く、私の憧れでした。私は、先輩に少しでも近づこうと、先輩の背中を追いつながら練習に励みました。

しかし、努力を続けていくことは、決して簡単なことではありません。くじけそうな瞬間は誰にでもやってきます。そんな時、励ましてくれる人の存在は、どんなに心強いことでしょう。

去年の夏、私は、特設駅伝部にも入部し、県大会出場を目標に練習に取り組んでいました。憧れの先輩を始めとして、チームのメンバーはよきライバルでもあり、そして大切な仲間でした。練習はつらく大変なものでしたが、仲間と励ましあって、毎日の練習を重ねました。そして、大会当日、アンカーを任された私は、思いプレッシャーを感じていました。三位で受

けたった襷をかけて、ゴールまで必死で走りました。しかし、途中、ついに一人に抜かされ、最後は四位という結果……。県大会出場は果たしましたが、私はうれしそうに喜ぶメンバーの顔を直視できませんでした。私のせいでメダルがもらえなかったという申し訳ない気持ちでいっぱいだったからです。

そんなとき、先輩が、「アンカー走ってくれてありがとう。県大会も頑張ろうね。」と声をかけてくれました。私は、思ってもいなかった言葉をもらったことがうれしくて、やっと笑顔になりました。自分の走りは決して無駄ではなかったと、アンカーのプレッシャーを背負って走ったことを誇りに思えました。先輩や仲間との出会いが私を大きく成長させてくれたのです。

また、顧問の先生との出会いも私にとって大きなものでした。生徒会役員の選挙で落選してしまい、泣きたい気持ちを我慢して、放課後の部活動に向かおうとしていたときのことで、部活のメニューを聞きに先生のもとへ行ったところ、「泣きたいときは泣いてもいいんだ。次のチャンスにまたがんばれ。」と言って下さいました。悲しい気持ちを隠して平気を装っていましたが、何も言わなくても、先生は私の心の中を理解し、励ましてくれたのです。先生の一言で、私は思いっきり泣いて、心の中を洗い流すことができました。あの言葉があったからこそ、今も前向きな気持ちでいろいろなることにチャレンジできているのだと思います。

たくさんの出会いがあって、今の私が在ります。くじけそうなき、あきらめそうなき、私は人との出会いに助けられ、強くなることが出来ました。そして、私は、そうやって強くなれた今の自分が好きです。

これからの人生、出会いの繰り返しです。もしできることならば、世界中の人と出会ってみたい、そう思います。その中には、天地がひっくり返るくらい大きな変化が訪れることもあるかもしれません。新しい出会いを経験する度に、新しい自分に出会えるのが楽しみです。そして、そうやって強くなった自分自身が、周りの人の力になれたのなら、それはとても幸せなことだと思います。

「家読でコミュニケーション」

わが家のイチおし

この一冊

— 矢祭もったいない図書館所蔵本から —

くまのこうちようせんせい

作 こんのひとみ
絵 いもとようこ
出版社 金の星社

セーターになりたかった毛糸玉

作・絵 津田直美
出版社 ブロンズ新社

この本は、本当のことを元にしたお話です。神奈川県のある小学校の校長先生のお話で、校長先生は余命3ヶ月と言われた後も学校に通い、命の授業を続けました。

病気になるって初めて知ることが沢山あり、子ども達の気持ちや痛みを分かち合う校長先生の姿が温かく、沢山のことを感じるステキな本です。ぜひ、お子さんと一緒に読んで欲しい1冊です。

このお話は、セーターになりたいと夢見る赤い毛糸玉たちのお話です。

ある日、その夢は叶います。でも、たった一つの毛糸玉だけ、もう少しというところでセーターになれず、残ってしまうのです。がっかりした毛糸玉は、予想もしない日々を送ることになり、ハラハラ、ドキドキさせられますが、とてもかわいらしく幸せな気持ちになれるお話です。また、この季節にもぴったりの絵本です。ぜひ、ご家族で読んでみてください。



矢祭もったいない図書館利用者
江さん 華さん 那也くん
雪さん 椋さん 侑惇くん
山 檜



矢祭もったいない図書館利用者
美さん 紀くん 衣ちゃん
初さん 芳さん 亜とも
佐藤

やまつりの「文化・スポーツ団体」紹介コーナー⑪

墨絵の会

◇代表者 佐川重俊 会員数13名
◇平成10年3月設立
◇団体紹介

平成13年3月、町中央公民館で開催した墨絵教室がきっかけとなり設立し、当初40名の会員が入会し、たいへんな人気でした。しかし、時間の経過と共に会員が減少し、現在は13名で墨絵を楽しんでいます。風景、花、鳥などを題材として描き、出来た作品は、町文化祭や白河信用金庫矢祭支店のロビーで展示しています。墨絵に興味のある方は、ぜひ見学にお出かけください。インターネット「まるごと矢祭」のホームページでも紹介されていますのでご覧ください。

矢祭あゆ

◇代表者 本多春子 会員数 6名
◇平成7年3月設立
◇団体紹介

県家庭婦人バレーボール連盟に登録し、大会に参加していましたが、現在はメンバー減少により、残念ながら試合に出場できません。でもバレー大好き、スポーツ大好きな仲間達ですので、ニュースポーツ等にチャレンジしています。昨年から矢祭中バレー部が練習相手になってくれ、バレーを楽しんでいます。身体を動かしたい方、バレーをやりたいと思っている小学生の皆さん、火曜日の夜、体育センターで汗を流しませんか！お気軽に顔を出してください。



※11月号「わが家のイチおしこの一冊」で紹介しました沼端由佳理さんのお子さんの理紗ちゃんの名前は、正しくは「里紗」で、夢陽ちゃんのふりがなが「はるみ」となっていました。正しくは「みはる」でした。ここに訂正しお詫びを申し上げます。

かなざわ みお
金澤 美桜 ちゃん
(平成22年12月12日生まれ)
おてんば美桜ちゃん。これからも
お兄ちゃんお姉ちゃんと仲良くね。
(お父さん・お母さんより)



さとう ねお
佐藤 寧音 くん
(平成22年12月30日生まれ)
食いしん坊 ねおちゃん。たくさん食
べて大きくなってね！お兄ちゃんと仲良
しいてください。(パパママより)



ふじた ようせい
藤田 陽誠 くん
(平成22年12月1日生まれ)
すくすく元気に育ってほしい
(父母より)



さがわ りょうた
佐川 遼太 くん
(平成22年12月24日生まれ)
お誕生日おめでとう。いつも笑顔
をありがとう。これからもすくすく
元気に育ってね。(パパ・ママより)



あ
く
あ
く
満1歳

お誕生日おめでとう!!

Health Check はつらつ健康

保健だより

お酒を上手に飲みましょう

将来への不安やゆううつ、眠れないなどの理由で、お酒の量が増えていませんか？災害後には飲酒量が全体的に増加するそうです。また、これからは忘年会新年会とお酒を飲む機会が増えてきますね。お酒は嗜好品として人々の生活や人間関係の中に深く根ざした側面と、アルコール依存症やがん、肝障害を誘発するなど様々な心身の病気を引き起こす薬物としての側面を合わせ持っています。あなたは、お酒を上手に飲んでいますか？

お酒の飲み方チェック (アルコール依存症自己チェック)

- 1 あなたは今までに、飲酒を減らさなければいけないと思ったことはありますか。
 - 2 あなたは今までに、飲酒を批判されて腹が立ったりいらだったことはありますか。
 - 3 あなたは今までに、飲酒に後ろめたい気持ちや罪悪感を持ったことはありますか。
 - 4 あなたは今までに、朝酒や迎え酒を飲んだことがありますか。
- ☆2問以上該当の場合・・・アルコール依存症の疑いがありますので、まずはお酒を控え、専門家(医師や保健師等)にご相談ください。
- ☆該当が1問以下の場合・・・正常です。

お酒を上手に飲むには

- お酒の悪影響を少なくするために、適切な飲み方をしましょう。
- ◎ 適正飲酒量を守りましょう(ビールなら500ml.日本酒なら1合弱、焼酎なら100ml.ワインなら200ml.ウイスキーなら60ml.) 高齢者や女性はこれらの半分を目安にしましょう。
 - ◎ 一緒に何かを食べたり、薄めて飲んだりするなどの工夫をしましょう。
 - ◎ 時間をかけてゆっくり飲みましょう
 - ◎ 3日に1回は休肝日を作りましょう
 - ☆ 多量飲酒の目安は、適正飲酒量の3倍です(ビールなら1500ml.等)

アルコール相談窓口

- ・福島県精神保健福祉センター TEL 0570-064-556
- ・県南保健福祉事務所 TEL 0248-22-5649
- ・断酒会：(社)全日本断酒連盟事務局 TEL 03-3863-1600

俳句

ふきの芽句会

絵の中を風の抜け出す文化祭
木枯のまっすぐ来たリダリア園
秋霖や智恵子生家の機織り機
帚の目入れて時雨を待ちにけり
小鳥くる野菜の育つやしき畑
立冬や棚田の里の夕景色
八十路坂急ぐことなしコタツ入る
ホームにて菊作る人もらう人
冬の蠅言いたきことは胸奥に
残りたる傘は別物神の留守
相部屋に薬見せ合う菊脛
敷落葉杉根伝いの男袷
如才無き返事奥から柿のれん
空青し抱きおこしたる乱菊
冬隣畑隅に掘る団ひ穴
影連れて枯萱原に深入りす

石川 柳子
鈴木 良夫
金沢 タツ
蓮見 ふゆ
佐藤 たつ江
松本志津子
鈴木 幸子
鈴木 正則

虫歯になんか負けないぞ～。

3歳児健康診査「歯科健診」を実施しました。
虫歯ゼロの子どもたちを紹介します。
自分の歯は大事な一生の宝物だよ。



「この社会あなたの税が生活している」12月1日から24年3月31日までは「自主納税推進運動」実施中です。

就学時健康診断を実施

平成24年度小学校入学を予定している48名(男子27名、女子21名)を対象とした就学時健康診断が、11月8日・9日の2日間、町山村開発センターで行われました。

就学予定児の心身の健康状態を的確に把握し、義務教育諸学校への入学に備え、元気に入学できるように保健上必要な助言と指導に努めることを目的に、内科検診や歯科検診、視力検査、聴力検査が行われました。



虫歯はないかな？

胸の音はどうか？

この音聞こえる？

これ見えるかな？

納税推進に関する習字・標語コンクール

矢祭町納税貯蓄組合連合会緑川恵克会長主催の平成23年度納税推進に関する「習字」と「標語」のコンクール審査会が、11月7日役場会議室で行われました。応募作品数は、習字部門に矢祭中学校から92点、標語部門に4小学校から123点の応募があり、厳正な審査の結果、入賞作品が決定しました。(敬称略)

- 【習字部門】
 - ◆中学校1年
 - 矢祭町長賞(最優秀賞) 嘉成はるか
 - 白河税務署長賞 日下綾菜
 - 県南地方振興局長賞 増子夏海
 - 町納税貯蓄組合連合会会長賞 高信葵美
 - 町納税貯蓄組合連合会優秀賞 佐藤綾音、多川睦美、横山智美
 - ◆中学校2年
 - 矢祭町長賞(最優秀賞) 高澤祐希
 - 白河税務署長賞 片野里香
 - 県南地方振興局長賞 鈴木麻由美
 - 町納税貯蓄組合連合会会長賞 金澤美佳
 - 町納税貯蓄組合連合会優秀賞 菊池恵美花、富永良樹、藤井瀬里香
 - ◆中学校3年
 - 矢祭町長賞(最優秀賞) 弓田健斗
 - 白河税務署長賞 松浦楠大
 - 県南地方振興局長賞 鈴木千夏
 - 町納税貯蓄組合連合会会長賞 滑川菜穂
 - 町納税貯蓄組合連合会優秀賞 菊池佳奈恵、鈴木裕太、佐藤彩香
 - 【標語部門】
 - 町納税貯蓄組合連合会会長賞(最優秀賞) 佐藤亜衣(東館小5年)
 - 町納税貯蓄組合連合会優秀賞 藤井慶悟(石井小6年)
 - 菊池竜矢(内川小6年)、松浦楓奈(石井小6年)、菊地一磨(内川小6年)、松本千宙(内川小5年)、松本大空(内川小5年)

NHK福島局が取材に来町

11月15日、NHK福島の夕方番組「はまなかあいず」のスタッフが、下関河内の(株)金沢園芸(金沢美浩代表)を訪れ、東日本大震災復興の願いを込めた新品種の鉢花を出荷する金沢さんの思いを取材しました。



インタビューに答える金沢さん

新品種は、矢祭鉢物研究会石井康行会長らが中心となり「アッサムニオイザクラ」を10年かけて改良し、名称を「リメイク」と名付けた鉢花です。金沢さんは、「東日本大震災で暗いニュースが多い中、新品種の鉢花に復興の願いを込め、1年前倒しし出荷を開始した」との思いをカメラに向かい静かに語っていました。この様子は、同日夕方、福島県内に放送されました。

狩猟解禁とはなつたものの？

11月15日から来年2月15日までの3ヶ月間、狩猟が解禁となりました。(福島県はイノシシの狩猟だけは、来年3月15日まで期間延長)となりました。

解禁日には、県の担当職員や町職員、鳥獣保護員、猟友会矢祭支部役員が連携し、日の出前から町内一斉

住宅用火災警報器に関するアンケート調査を実施

今年6月から住宅用火災警報器の設置が義務化されたことから、福島県消防協会で設置世帯と未設置世帯に対し、アンケート調査を実施することになりました。

白河地方広域市町村圏管内では白河市と矢祭町が対象となり、11月14日、矢祭町婦人消防隊大森晴美隊長と薄葉新一棚倉消防署矢祭分署長らで、山野井金沢地区の設置世帯30戸と未設置世帯10戸を訪問しアンケート調査を実施しました。

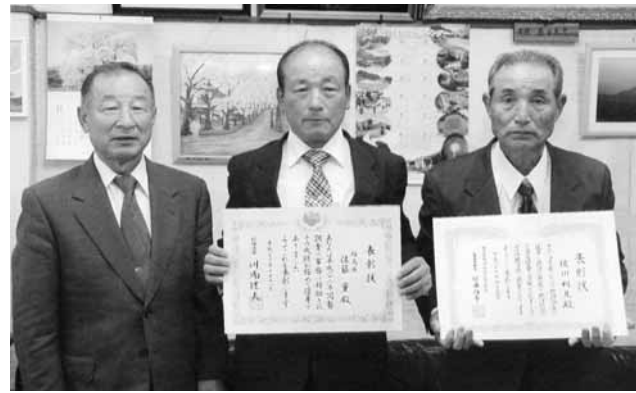


アンケートを依頼する大森隊長と薄葉分署長

長年統計調査に従事功績が認められる

平成23年度福島県統計功労者表彰式が11月9日福島市「杉妻会館」で行われ、長年にわたり統計調査業務に従事した功績が認められ、本町より2名の方が受賞しました。

受賞したのは、上関河内の統計調査員佐藤薫さん(総務大臣表彰)と、小田川の統計調査員佐川利見さん(福島県統計協会名誉会長表彰)で、11月8日に町長室を訪れ、受賞報告するとともに喜びを語りました。



受賞した佐藤さん(中央)佐川さん(右)

平成大学生いも煮会 食欲の秋を満喫!

高齢者の生涯学習の場となっている平成大学で、10月26日に町山村開発センターに60名の学級生が出席し、いも煮会交流会が行われました。

秋本番を迎え、旬の素材を活かしたとん汁と新米のおにぎりを作り、学級生同士、会食しながらの交流を図りました。女性が調理部門を担当。男性は開発センター周辺の除草や枯葉集めなど奉仕作業を担当し、汗を流しました。

料理が出来上がると、開発センター1和室の縁側で会食。秋のやさしい日差しを浴びながら、おにぎり、とん汁に舌鼓を打っていました。



おいしさに顔がほころぶ

創意工夫した学習発表会

10月29日、町内5小学校で学習発表会が開催され、創意工夫した学習の成果が発表されました。各校とも会場となった体育館には、保護者や家族が大勢詰めかけ、子どもたちの演技や歌、発表を見て、その成長ぶりに目を細めていました。
最後に、お邪魔した東館小学校では、143名全員による全校合唱が始まり、体育館内に♪涙の数だけ強くなれるよ アスファルトに咲く花のように♪と大きな歌声が響き渡っていました。



石井小学校

東館小学校

下関河内小学校

関岡小学校

内川小学校

絶対に火遊びはしません!!

11月9日、秋季全国火災予防運動の初日、東館幼稚園幼年消防クラブ員による防火パレードが行われました。
出発に先だち、はじめの会で園児代表が「絶対に火遊びはしません」と元気に誓いのことを述べ、「秋の全国火災予防運動」の横断幕を先頭にパレードに出発しました。
ちびっ子クラブ員たちは、グマッチ1本火事のもと」と拍子木を打ちながら東館町内をパレードし、沿道で見守る多くの住民に火災予防を呼びかけました。



まといを振りながらパレード

東館幼稚園幼年消防クラブ防火パレード

電子式放射線量計を貸与

町では、福島第1原発事故により飛散した放射能の健康被害対策の一助として、電子式放射線量計を購入しました。この線量計は、妊婦、乳幼児を対象にしたもので、11月1日から貸与を開始しました。該当者分の230個を購入し、土・日・祝祭日・年末年始を除く、平日午前9時から午後4時まで、山村開発センターで受け付けています。
貸与を希望する方は、母子手帳と貸与申請書・同意書を持参してください。詳しくは、町民福祉課健康グループ(TEL46-4573)までお問い合わせください。
なお、電子式線量計は、幼稚園児・小中学生には全員に貸与してあります。



使い方を聞く親子

矢祭もつたない図書館で家読まつり

11月12日、矢祭もつたない図書館(金澤昭館長)で親子や来賓など総勢50名が出席し、家読まつりが開催されました。

初めに表彰式が行われ、金澤館長が挨拶、町長代理の二階堂教育長、鈴木スミエ山野井金沢家読会会長が来賓祝辞を述べました。その後、うちどくポストカード参加者19名とその作品が紹介され、代表の小林龍ノ介さん(関岡小5年)に表彰状が渡されました。続いて、「わが家のうちどく本じてん」達成者の下重香菜子さん(東館小4年)、本多葵さん(関岡小2年)、緑川圭さん(東館幼稚園)が表彰されました。



表彰式に臨む参加者



代表の小林龍ノ介さん



「わが家のうちどく本じてん」達成者

わくわくタイムでは、矢祭キャラバンカーの見学や科学はてな教室、工作教室が行われたり、家読おはなし会の応募作品読み聞かせが行われたりと、図書館での1日を楽しみました。また、昼食時には、図書館スタッフが用意したおにぎりとおすいとん汁をほお張りながら、親子、友だち同士でのひとときを過ごしていました。

第33回東白川郡短歌大会総会

三十一文字の芸術を堪能

11月3日、ユーパル矢祭で第33回東白川郡短歌大会総会と東白川郡短歌大会が開催され、郡内から45人の短歌会員が参加しました。
総会は、藤田君江矢祭短歌会長が大会長挨拶し、来賓の矢祭文化団体連絡協議会郡司千代子副会長が祝辞を述べ、議事が行われました。
総会終了後、歌評を行う講師の日本歌人クラブ員で福島民報文芸「短歌選者」の小池和子先生が紹介され、さっそく郡短歌大会詠草歌51首の歌評を行い、入選歌を決定し表彰を行いました。この東白川郡短歌大会は、昭和53年矢祭山青年研修所で開催したのが最初で、長い年月を重ねています。



参集した短歌愛好会

入選歌

天位 一本の杖を頼りに過ごす日々心の杖もあればと思う
地位 代々の農家に生まれ農に老いし今にして瑞穂の国をかなしむ
人位 あさがおにおしろいばなにほうせんか絵日記にさくひらがなの花
他佳作19首
矢祭町 高沢 寿雄
矢祭町 藤田 君江
棚倉町 石井 敬子

「PM4ライトオン運転展開中」夕暮れ4時には車のライトを点灯しましょう。

「前平遺跡」現地説明会

9月から本格調査が始まった石井字小野沢地内の前平遺跡で、10月25日現地説明会が開かれ、町民ら約50名が参加しました。

この遺跡は、県営基幹農道整備事業を進める中で発見され、2月に試掘調査を行い、竪穴住居跡、土坑(落とし穴)、柱穴、焼土跡が見つかり、本格調査を行うことになりました。

これまで竪穴住居跡3棟、土坑13基、柱穴54個、溝跡1条、遺物包含層1箇所が見つかっており、縄文式土器、弥生式土器などが出土しています。これらから、断続的ではありますが、縄文時代から江戸時代まで「生活の場」として利用されていたことが推測され、説明を聞いた参加者は遠い昔に思いを馳せていました。



説明を聞く参加者

福島県知事賀寿を贈呈

明治44年11月15日生まれで、満百歳を迎えたユーアイホームに入居している富永登さんに、11月16日福島県知事賀寿が贈呈されました。

富永登さん満百歳を迎える

贈呈式は、関係者とホーム入所者が大勢出席した中、二瓶弘県南保健福祉事務所副所長から知事賀寿と記念品が、町長からは賀寿と記念メダルが贈呈されました。続いて、斎藤登町社会福祉協議会事務局長、佐川条雄町高齢者クラブ連合会長から記念品が、ユーアイホーム入居者代表の齋藤イシさんからは花束が贈られ、満百歳を祝いました。



知事賀寿を受ける富永さん

石井幼稚園幼年消防クラブ

11月18日、石井幼稚園幼年消防クラブが棚倉消防署矢祭分署を訪問し、園児たちが手づくりした「消したはず、決めつけないで、もう一度」の防火看板を寄贈しました。

12回目の矢祭分署訪問

26名のちびっ子クラブ員と小室通子園長、深谷義典保護者会長らが引率し、薄葉新一分署長に園長が「火遊びしないことを守り、火事を絶対に出不さないよう願って作成しました」と挨拶し、クラブ員代表の園児から贈呈しました。贈呈を終えた後、矢祭分署に配備してある消防車両や救急車について、分署員から説明を聞くこと、みな驚きの表情を見せていました。



驚くちびっ子クラブ員

人権擁護をアピール

11月2日、文化祭会場となったユーパル矢祭で、人権擁護委員の皆さんが来場者にチューリップの球根と人権擁護を呼びかけるチラシを配布しながら、広報活動を展開しました。

12月4日から10日は「人権週間」です。「みんなで築こう人権の世紀 考えよう相手の気持ち 育てよう思いやりの心」をテーマとし、12月5日に人権擁護委員が「相談会」と「学校訪問」を実施いたします。人権に関して何か困りごとがある方は、ぜひこの機会にご相談ください。秘密は厳守します。



来場者へ呼びかける委員

行事 & お知らせ 情報局

11月2日から福島県最低賃金が改正されました

福島県の最低賃金は、11月2日から、時間額657円を1円引き上げて658円になりました。同日以降は、最低賃金法の規定により、改正後の最低賃金額未満で労働者を雇用してはならず、同額未満の賃金で雇用契約を締結した場合、その契約は無効となります。

福島県地方務局からののお知らせ

福島県地方務局訴訟部門及び人権擁護課は、平成24年1月16日(月)から左記の所在地へ移転となりますので、お知らせいたします。なお、ご不明な点がありましたら、福島県地方務局総務部(TEL024-534-1111)までお問い合わせ願います。

〒960-0103 福島市本内字南長割1の3 福島県地方務局分室内 訴訟部門 TEL024-534-11976 人権擁護課 TEL024-534-11994

ひきこもり講演会のご案内 思春期青年期は心身が大きく変化する時期です。近年は、ご家族から「子どもとの接し方がわからない」といった相談が多くなってきました。思春期青年期の子どもを持つ方、ひ

国民年金保険料を納めましょう

国民年金保険料を納めないままですと、将来の老齢基礎年金や障害年金・遺族年金など、事故等が発生した場合、年金が受けられないこととなります。

平成23年度国民年金保険料額は1ヶ月15,020円です。納めた保険料は、全額が社会保険料控除の対象となり、税額の算定基準額が下がります。

まだ納付がお済みでない方は、納付書をご用意のうえ、至急お近くの金融機関、郵便局またはコンビニ窓口で納付してください。

日本年金機構白河年金事務所 TEL0248-274161(音声ガイダンス終了後、「3」を押してください)

個人事業税の定期課税のお知らせ

県内で事業を営んでいる方を対象とした個人事業税の今年度課税分については、東日本大震災に伴う納期限等の延長措置により、納税通知書の発付を延期しました。このたび課税の時期が以下の内容で確定しましたのでお知らせします。

なお、詳しくは県南地方振興局県税部(TEL0248-231517)まで

林業退職金共済制度からのお知らせ

林業の仕事をしていただく方がありませんか。林業退職金共済制度に加入していたが、退職金をまだ受け取っていない方を探しています。以前、林業の仕事をしてきたが、ご自身が林業退職金共済制度へ加入していたか分からない方についてもお問い合わせください。

また、罹災された共済契約者及び被共済者の皆様に対し、各種手続きの必要が生じた場合は、できる限りの範囲において速やかに対応いたしますので、最寄の支部又は本部へお問い合わせください。

独立行政法人勤労者退職金共済機構 林業退職金共済事業本部 TEL03-5440004334 FAX03-343215868

※詳しくはホームページ(http://www.rintai-kyo.taisyokukin.go.jp/)でもご案内しております。

水郡線全線開通77周年記念まつり

愛 称名が「奥久慈清流ライン」と決定した水郡線は、12月4日に全線開通77周年を迎えます。これに合わせて、沿線地域の活性化と東日本大震災により甚大な被害を受けた福島県、茨城県の復興支援を目的に「水郡線全線開通77周年記念まつり」が開催されます。

沿線自治体とJR東日本が連携しながら、11月26日(土)～12月11日(日)まで、主要駅において各種イベントが展開され、12月11日には磐城石川駅前広場をメインに、沿線の観光PRや物産販売をはじめ、臨時列車の運転等が行われます。

期 日 12月11日(日)
 午前9時～午後4時まで(予定)
 場 所 磐城石川駅構内等
 内 容 臨時列車到着時の歓迎セレモニー(石川祭囃子保存会による演奏)

～乗って見つける77の魅力～

- ・福島県沿線等の物産販売、外
- ・臨時列車リゾートトレイン撮影会
- ・子供駅長制服撮影会、鉄道資料販売(予定)
- ◆ 駅からハイキング
- 「陸奥国一之宮の歴史探訪と狍犬めぐり」
- ・受付時間 午前10時～午後1時まで
- ・受付場所 磐城石川駅前広場
- ◆ 臨時列車の運転「リゾート奥久慈清流号」
- 【問】 水郡線活性化対策協議会事務局(石川町役場総務課内)
 TEL 0247-26-9114

震災に伴うローン返済等に関する相談

債 務整理のガイドラインができました。震災により返済が困難となった借り入れについては、債務整理のガイドライン利用で一定の要件の下、①債務の免除などが受けられます。

②破産手続きとは異なり個人信用情報の登録などの不利益を回避できます。

③国の補助により弁護士費用はかかりません。詳しくは、以下へご相談ください。

一般社団法人「個人版私的整理ガイドライン運営委員会」(受付時間 平日9時～17時)
 ○フリーダイヤル090-0380-8803

多重債務・貸金業に関する相談窓口

福 島財務事務所では、返済しきれないほどの借金を抱え、お悩みの方々からの相談に応じています。抱えている借金の状況をお聞きし、必要に応じて弁護士・司法書士などの専門家に引継ぎを行います。相談は無料ですので、お気軽にご相談下さい。

また、国や県の登録を受けずに貸金業を営む、いわゆる「ヤミ金融」には十分ご注意ください。ご利用されているか貸金業者の登録状況に関する問合せや不正に利用されている預貯金口座に関する相談も受け付けています。

相談窓口 福島市松木町13の2 福島財務事務所 理財課
受付時間 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始除く) 午前8時30分から午後5時15分
 TEL 024-533-0064(多重債務相談窓口直通) 024-535-0303(理財課)

NTT東日本より電話帳が発行されます

N TT東日本から新しい電話帳が発行されます。12月中旬に順次、配布されます。

現在お使いの電話帳は、配達員にお渡しください。回収した電話帳は、資源の有効活用のため再利用されます。なお、不在等で配達員に電話帳を渡せなかった場合は、「タウンページセンター」まで連絡をすれば、後日、回収にお伺いします。

【問】 タウンページセンター(平日 午前9時～午後5時)
 ○フリーダイヤル0120-506-309

戦後強制抑留者の皆様へ

シ ベリア戦後強制抑留者に対する特別給付金が給付されます。

- ・対象者は、旧ソ連邦又はモンゴル国の地域における戦後強制抑留者で、平成22年6月16日に日本国籍を有するご存命の方です。
- ・請求受付期間は、平成24年3月31日まで。まだ請求されていない方は、お急ぎください。請求期間内に特別給付金の支給をしなかった場合には、支給されません。
- ・請求書をお持ちでない方は、至急、基金から請求書類を取り寄せてください。
- ・既に特別給付金を支給された方は、再度の請求は出来ません。

連絡・問合せ 独立行政法人平和祈念事業特別基金事業部特別給付金認定担当 0570-059-204(ナビダイヤル)
受付時間 平日9時～18時(土日・祝祭日利用できません)

便利なねんきんネットをご利用ください

役 場窓口で簡単な手続きで、年金加入者や受給者ご自身の年金加入記録を確認することが出来る「ねんきんネット」サービスの運用を開始しました。確認できる内容は、次のとおりです。

- ①公的年金制度(国民年金・厚生年金保険・船員保険)の加入履歴
- ②国民年金保険料納付記録
- ③厚生年金保険に加入していた時の会社名、標準報酬月額、標準賞与額
- ④船員保険に加入していた時の船舶所有者名、標準報酬月額、標準賞与額
- ⑤年金見込額など

また、10月31日より「年金見込額の試算」と「国民年金死亡者記録検索」が出来るようになりました。

○窓口で手続きを行う場合の必要な書類(2つとも持参ください。)

人の動き

11月1日現在の住民基本台帳より()内は前月比

人口	6,481人	(-12)
男	3,165人	(-8)
女	3,316人	(-4)
世帯	2,076人	(-6)

●11月中の動き

	男	女	計
◇転入	1人	3人	4人
◇転出	7人	4人	11人
◇出生	0人	3人	3人
◇死亡	2人	6人	8人

矢祭町役場電話番号表(0247) FAX 46-3155

課・グループ名	電話番号
自立総務課	
総務グループ	☎46-3131
企画財政グループ	☎46-4579
税務グループ	☎46-4572
町民福祉課	
健康グループ	☎46-4573
福祉グループ(介護保険)	☎46-4581
生活環境グループ	☎46-4574
町民グループ	
事業グループ	☎46-4577
産業グループ(観光担当)	☎46-4576
F A X	☎46-3025
議会事務局	☎46-4578
出納室	☎46-4571
山村開発センター	☎46-2097
中央公民館	☎46-2202
学校教育グループ	☎46-4580
生涯学習グループ	☎46-2202 FAX兼用
F A X	☎46-3400

御用のある方は、各課の直通電話をご利用下さい

今月の納税

- 町県民税 4期
- 国民健康保険税及び介護納付金 7期
- 介護保険料 7期

※口座振替日・納期限 12月28日(水)

「まほろん」からのお知らせ

福島県文化財センター白河館「まほろん」から只今、「まほろん」では12月の実技講座や文化財研修の参加者を募集しています。

また、どなたでも自由に参加できる講座やイベントも予定しています。ぜひ一度参加してみてください。

白河館
 TEL 0248-21-0700

・本人確認の書類(運転免許証・保険証など)

・基礎年金番号が分かるもの(年金手帳など)又は照会番号が分かるもの(ねんきん定期便)

※なお、旧法受給者(大正15年4月1日以前生まれの方や、昭和61年3月31日以前に老齢年金や退職年金の受給権がある方)や共済加入中の方は、ご利用いただけません。

【問】 町民福祉課町民グループ
 TEL 46-4574

- ◆ 実技講座「家族で風をつくろう」
 日時 12月17日(土) 10時～15時
 対象 小学生以上 材料費 200円
 募集締切日 12月10日(土)
 - ◆ 文化財研修「土師器の見方～古墳時代中期」
 日時 12月18日(日)
 13時30分～15時30分
 対象 一般県民、文化財担当者
 募集締切日 12月14日(水)
 - ◆ 企画展「まほろん収蔵の器の変遷」
 期間 11月26日(土)～2月19日(日)
 - ◆ 館長講演会「歴史は知恵の森～藤本前館長の思い出」
 日時 12月17日(土)
 13時30分～15時30分
- 【問】 まほろん(福島県文化財センター白河館)
 TEL 0248-21-0700

消防署から

年末年始の火災予防「特別警戒」を実施

今年もあとわずかとなり、年の瀬何かと忙しくなります。お出かけ前、お休み前には必ず火の元の安全を確かめましょう。

12月20日から平成24年1月5日まで、火災予防運動の年末年始特別警戒を実施します。火災の主な原因は「焚き火、放火又は放火の疑い、たばこ」となっていますので、十分気をつけて火災のない明るい正月を迎えましょう。

◆ 矢祭町内の件数

- ・火災件数 1件
- ・救急出動 216件

(平成23年1月1日～11月28日現在)

今もむかしも火の用心
 あなたを守る

【問】 榎倉消防署矢祭分署
 TEL(46)2119



今月のこの1枚

石井小マラソン大会で孫の応援に駆けつけたお爺さんとお婆さん。平成13年3月に竣工した県営ほ場整備事業の記念碑前に腰を下ろし、孫の登場を待つ姿を1枚。これからスタートする児童の中には平成13年生まれもいます。時の流れは早く、人を大きく成長させるものだと思いつつシャッターを切りました。



[略称] 当…当番医 山開…山村開発センター 塙…塙厚生病院

日	月	火	水	木	金	土
4 人権週間 ● 第16回矢祭ふれあい駅伝大会 Ⓧ おおひら整形外科33-9468	5 	6 ● 運動教室 山開(10:00~11:00) ● カンガルーくらぶ	7 大雪 ● カンガルーくらぶ	8 ● 母親教室 塙(13:30~15:30) ● カンガルーくらぶ	9 ● カンガルーくらぶ	10 世界人権デー 年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動~1/7
11 Ⓧ 塙厚生病院43-1145	12 ● 4か月児健診・B.C.G接種 塙(受付13:30~13:40)	13 ● 運動教室 山開(10:00~11:00) ● 元気づくり教室 館山荘(10:30~13:00) ● カンガルーくらぶ	14 ● カンガルーくらぶ	15 シルバー交通安全の日 ● 母親教室 塙(13:30~15:30)	16 ● 愛の献血 ● カンガルーくらぶ	17 
18 交通安全話し合いの日 Ⓧ 木村医院46-3528	19 ● 心の健康相談会 山開(10:00~16:00)	20 ● 運動教室 山開(10:00~11:00) ● カンガルーくらぶ	21 ● 矢祭町立幼稚園第2学期終業式 ● 矢祭町立小中学校第2学期終業式 ● カンガルーくらぶ	22 冬至 ● カンガルーくらぶ	23 天皇の誕生日 ● 踏切事故防止の日 Ⓧ あらまちクリニック33-8018	24 
25 クリスマス Ⓧ 和田医院33-2012	26 ● カンガルーくらぶ	27 ● カンガルーくらぶ	28 官公庁仕事納め 	29 ● カンガルーくらぶ	30 ● 東館診療所46-3165	31 大払い年越し Ⓧ 大木医院33-2424
1/1 元旦 Ⓧ 金澤医院46-2312	2 ● 東白川中央病院33-3263	3  Ⓧ おおひら整形外科33-9468	4 官公庁仕事始め ● 矢祭町消防団出初め式	5 ● 母親教室 塙(13:30~15:30) ● カンガルーくらぶ	6 小寒  ● カンガルーくらぶ	7 七草 

あ・亡・が・き

◇師走に入り、今年も残すところ1ヶ月を切りました。◇3月11日発生した東日本大震災が大きな傷跡を残したまま、年末年始の意気込みがたえず、福島の復興活動も進んでいきました。◇お盆が近づき、東の国元へ帰る意気込みが、動いてはいます。◇来年こそ日本経済が「動く」といわれてはいます。◇被災地が元どおりに「動く」といわれてはいます。

(青砥)

赤ちゃんの名前	誕生月	誕生日	保護者	地区
柳田 和奏	10	24	富和美子	東館区
益子 叶夢	11	1	亜拓 耶也	下関河内
藤田 菜緒	11	2	真智子	中石井
榎森 光	11	8	真智子	弓仁
長岡 主水	11	14	和美	和志
菊池 峻矢	11	19	和志	内川
豊田 敦	10	8	敦子	石井
鈴木 規子	10	10	文子	金下
大森 幸	11	11	幸子	関金
藤田 昭一	11	11	昭子	関中
山崎 清枝	11	11	清子	中石
石川 昭子	11	11	昭子	石井
緑川 昭子	11	11	昭子	石井
佐藤 昭子	11	11	昭子	石井